

# エコアクション21 環境活動レポート

活動期間：平成 22 年 11 月 ～ 平成 23 年 10 月



第 2 版：平成 24 年 1 月 16 日 発行



岡村建設工業株式会社

# 環境方針

## ◆ 基本理念 ◆

当社は、創業以来地域の皆様に支えられ、「社会貢献につながる仕事」を基本理念として今日まで歩んでまいりました。

今後、ますます深刻化していくことが予想される、資源の枯渇等環境問題を社会の最重要課題の一つと捉え、当社の事業を通じて社会に貢献していくために、全社員一丸となり鋭意努力してまいります。

## ◆ 活動指針 ◆

1. 事業所及び現場で使用する化石燃料、電気使用量の削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 建設廃棄物の発生抑制・削減・再利用・リサイクルに取り組み、産業廃棄物総排出量を削減します。
3. 水の使用量削減及びグリーン購入、そして現場における再生材の活用に取り組み、資源の効率的使用を推進します。
4. 環境関連法規制等を遵守し、地域住民とのコミュニケーションを積極的に行い建設現場等の環境保全に努めます。

この方針を全社員に周知徹底し、環境保全の意識向上に努めます。又、環境への取り組みを、環境活動レポートとして作成・公表します。

制定：平成21年 8月 1日

改訂：平成21年 12月 10日

岡村建設工業株式会社

代表取締役社長

# 目次

## 環境方針

1. 組織の概要.....	1
2. エコアクション 21 組織図及び実施体制 .....	3
3. 環境負荷の実績及び環境目標.....	4
4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容.....	10
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 .....	14
6. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	15

## 1. 組織の概要



### (1) 事業所名及び代表者名

岡村建設工業株式会社

代表取締役社長 岡村 延昌

### (2) 所在地

静岡県焼津市栄町6丁目3番15号

### (3) 環境管理責任者

総務部 田村 敏一



### (4) 連絡先

窓口担当者(環境事務局) 総務部 小野 由美子

TEL : 054-627-5711

FAX : 054-627-6312

E-mail : yumiko\_ono@okamura-cicl.com

### (5) 事業内容

#### 【特定建設業】

許可番号 : 静岡県知事許可 特-21 第 5648 号

許可種類 : 土木一式工事

とび・土工工事

鋼構造物工事

舗装工事

しゅんせつ工事

水道施設工事

許可番号 : 静岡県知事許可 特-21 第 5648 号

許可種類 : 建築工事

#### 【一般建設業】

許可番号 : 静岡県知事許可 般-21 第 5648 号

許可種類 : 管工事

造園工事

【焼津市指定給水装置工事事業者】

許可番号：第 216 号

【焼津市下水道排水設備指定工事店】

許可番号：第 135 号

【産業廃棄物収集運搬業(静岡県)】

許可番号：第 02201106063 号

産業廃棄物の種類：金属屑、がれき類

許可有効年月日：平成 20 年 9 月 18 日～平成 25 年 9 月 17 日

運搬施設の概要：許可車両台数 4 台

第 44 期の実績：アスファルトガラ 317.23t

コンクリートガラ 47.00t

処理料金：見積に応じます。

(6) 事業の規模

設 立：昭和 42 年 11 月 27 日

資 本 金：2,000 万円

事業規模	単位	[第 42 期] H20. 11～H21. 10	[第 43 期] H21. 11～H22. 10	[第 44 期] H22. 10～H23. 10
売上高	千円	1, 250, 132	1, 153, 031	1, 663, 751
従業員数	人	38	44	44
本社床面積	m2	583	583	583

(7) 取得資格名及び有資格者数

1 級土木施工管理技士： 15 名

2 級土木施工管理技士： 6 名

1 級造園施工管理技士： 2 名

2 級造園施工管理技士： 2 名

2 級管工事施工管理技士： 6 名

2 級建設機械施工管理技士： 3 名

給水装置工事主任技術者： 2 名

1 級舗装施工監理技術者： 6 名

2 級舗装施工管理技術者： 4 名

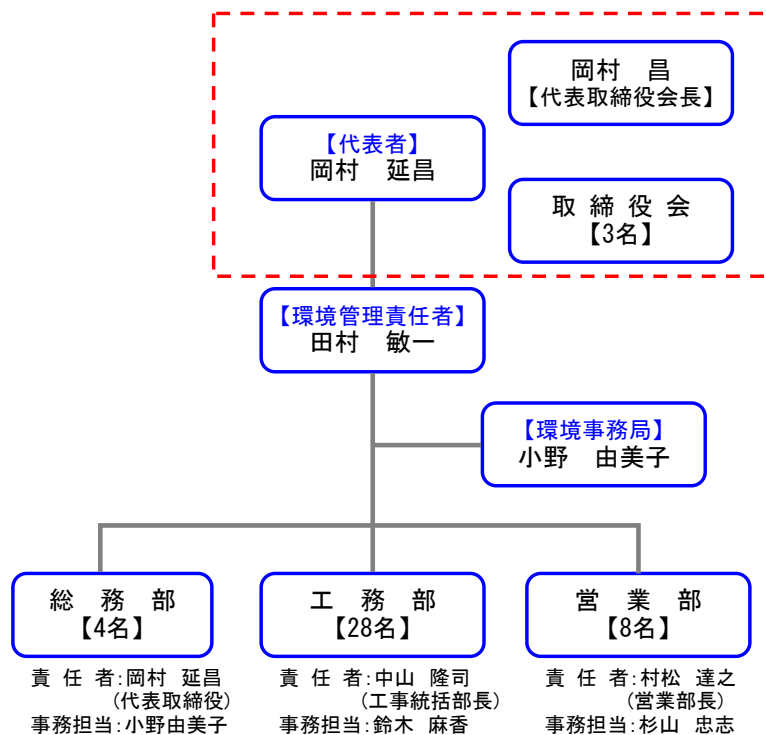
測量士補： 1 名

## 2. エコアクション 21 組織図及び実施体制



### (1) 組織図

〈平成 21 年 8 月 1 日より〉



### (2) 実施体制

職 名	主 な 責 任 と 権 限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針を定める</li> <li>環境管理責任者を指名</li> <li>資源(人材, 資金, 設備等)の用意</li> <li>環境経営システムの評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの総責任者として必要な権限を持つ</li> <li>システムの構築, 運用状況を代表者へ報告</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システム全体計画の立案</li> <li>環境経営システム上の事務管理</li> <li>環境活動実施計画の実績集計</li> </ul>
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部門における計画推進状況の確認</li> <li>上記においては是正事項があった場合改善指示を行う。</li> </ul>
各部署(全社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>定められた事項の遵守</li> <li>問題の発見及び報告</li> <li>環境活動への参加</li> </ul>

### 3. 環境負荷の実績及び環境目標



本レポートより「1) 二酸化炭素排出量及び総排水量」については、環境効率指標(実績/売上高)で環境負荷の実績及び環境目標を報告する。

#### (1) 環境負荷の実績

##### 1) 二酸化炭素排出量及び総排水量

###### 【事務所】

項目	単位	第42期<H20.11~H21.10> 売上高：1,250百万円		第43期<H21.11~H22.10> 売上高：1,150百万円		第44期<H22.11~H23.10> 売上高：1,660百万円	
		実績	対売上実績	実績	対売上実績	実績	対売上実績
Co2総排出量	Kg-CO2	71,895.87	57.52	88,373.56	76.85	84,108.00	50.67
購入電力	kWh	51,041.00	40.83	62,153.00	54.05	60,121.00	36.22
灯油	L	20.00	0.02	212.00	0.18	0.00	0.00
重油	L						
都市ガス	Nm3	1,833.00	1.47	1,775.00	1.54	205.00	0.12
LPG	kg						
ガソリン	L	17,102.53	13.68	21,389.42	18.60	21,855.40	13.17
軽油	L						
水資源(上水)	m3	329.50	0.26	355.00	0.31	308.00	0.19

###### 【現場】

項目	単位	第42期<H20.11~H21.10> 売上高：1,250百万円		第43期<H21.11~H22.10> 売上高：1,150百万円		第44期<H22.11~H23.10> 売上高：1,660百万円	
		実績	対売上実績	実績	対売上実績	実績	対売上実績
Co2総排出量	Kg-CO2	197,630.52	158.10	286,788.04	249.38	400,115.90	241.03
購入電力	kWh	6,261.00	5.01	25.00	0.02	29,174.00	17.57
灯油	L	154.00	0.12	0.00	0.00	535.00	0.32
重油	L	800.00	0.64	541.00	0.47	800.00	0.48
都市ガス	Nm3						
LPG	kg	471.00	0.38	542.00	0.47	455.40	0.27
ガソリン	L	32,951.71	26.36	35,124.93	30.54	39,890.13	24.03
軽油	L	43,320.46	34.66	77,022.43	66.98	110,580.94	66.62
水資源(上水)	m3						

- ・各現場には水道施設を設置していない。
- ・現場の購入電力は、仮設低圧電力のみ計上。(電灯電力は日割り計算のため、上表単位での購入量の計上は不可能)
- ・Co2 排出係数は「0.555」を使用。

## 2) 廃棄物排出量

### 【事務所・現場】

項目	単位	第42期<H20.8~H21.10>	第43期<H21.11~H22.10>	第44期<H22.11~H23.10>
一般廃棄物(可燃)	kg	75.0	210.5	94.8
一般廃棄物(再生)	kg	8.8	27.7	10.3

※第42期の一般廃棄物は、3ヶ月分(H20.8~H21.10)の実績

- ・ プラごみ等については、以前から各自持ち帰ることとしている。(現場も同様)
- ・ 現場の一般廃棄物は、クリーンボックスに収集している。

## 3) 産業廃棄物排出量

### 【現場】

項目	単位	第42期<H20.8~H21.10>	第43期<H21.11~H22.10>	第44期<H22.11~H23.10>
アスファルトガラ	t	5,877.80	4,033.30	4,546.90
コンクリートガラ	t	1,079.42	1,001.43	420.90
建設汚泥	t	—	—	32.00
木くず	t	—	39.11	504.36

## 4) グリーン購入

### 【事務所・現場】

項目	単位	第42期<H20.8~H21.10>	第43期<H21.11~H22.10>	第44期<H22.11~H23.10>
グリーン購入(文具)	品目	—	12	7

- ・ 今期(第44期)実績より、年間事務用品費におけるグリーン購入費の割合を算出する。その値を基準とし、中期の目標を設定する。(P6「(2)環境目標(中期)」参照)



## (2) 環境目標(中期)

## 1) 二酸化炭素排出量及び総排水量

## 【事務所】

項目	単位	基準							
		第42期 <H21.11~H22.10>		第45期 <H23.11~H24.10>		第46期 <H24.11~H25.10>		第47期 <H25.11~H26.10>	
		対売上実績	比率	目標数値 (対売上実績)	比率	目標数値 (対売上実績)	比率	目標数値 (対売上実績)	
Co2総排出量	Kg-CO2	57.52	-1.0%	56.94	-2.0%	56.37	-3.0%	55.79	
購入電力	kWh	40.83	-1.0%	40.42	-2.0%	40.01	-3.0%	39.61	
灯油	L	0.02	-1.0%	0.02	-2.0%	0.02	-3.0%	0.02	
重油	L								
都市ガス	Nm3	1.47	-1.0%	1.46	-2.0%	1.44	-3.0%	1.43	
LPG	kg								
ガソリン	L	13.68	-1.0%	13.54	-2.0%	13.41	-3.0%	13.27	
軽油	L								
水資源(上水)	m3	0.26	-1.0%	0.26	-2.0%	0.25	-3.0%	0.25	

## 【現場】

項目	単位	基準							
		第42期 <H21.11~H22.10>		第45期 <H23.11~H24.10>		第46期 <H24.11~H25.10>		第47期 <H25.11~H26.10>	
		対売上実績	比率	目標数値 (対売上実績)	比率	目標数値 (対売上実績)	比率	目標数値 (対売上実績)	
Co2総排出量	Kg-CO2	158.10	-1.0%	156.52	-2.0%	154.94	-3.0%	153.36	
購入電力	kWh	5.01	-1.0%	4.96	-2.0%	4.91	-3.0%	4.86	
灯油	L	0.12	-1.0%	0.12	-2.0%	0.12	-3.0%	0.12	
重油	L	0.64	-1.0%	0.63	-2.0%	0.63	-3.0%	0.62	
都市ガス	Nm3								
LPG	kg	0.38	-1.0%	0.38	-2.0%	0.37	-3.0%	0.37	
ガソリン	L	26.36	-1.0%	26.10	-2.0%	25.83	-3.0%	25.57	
軽油	L	34.66	-1.0%	34.31	-2.0%	33.97	-3.0%	33.62	
水資源(上水)	m3								

## 2) 廃棄物排出量

【事務所・現場】

		基 準			
項 目	単 位	第43期 <H21. 11~H22. 10>	第45期 <H23. 11~H24. 10>	第46期 <H24. 11~H25. 10>	第47期 <H25. 11~H26. 10>
一般廃棄物(可燃)	kg	210.5	-5.0	-10.0	-15.0
一般廃棄物(再生)	kg	27.7	-2.0	-3.0	-4.0

※一般廃棄物(可燃・再生)については、第43期の実績を基準とする。(他項目で基準としている第42期において、一年間を通しての実績の集計がないため)

## 3) 産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量については、受注工事量及び工事内容によって数量が変動するため、目標は設定せず実績のみを集計する。[全量再資源化している。(リサイクル法対象)]

## 4) グリーン購入

【事務所・現場】

		基 準			
項 目	単 位	第44期 <H22. 11~H23. 10>	第45期 <H23. 11~H24. 10>	第46期 <H24. 11~H25. 10>	第47期 <H25. 11~H26. 10>
グリーン購入(文具)	円	174,027 : 7品目 年間事務用品費の5.9%	年間事務用品費の10%	年間事務用品費の15%	年間事務用品費の20%

<第44期 年間事務用品費 : 2,948,215円>

※グリーン購入については、第44期の実績を基準とする。(他項目で基準としている第42期において、実績の集計がないため)

(3) 今期(第44期)の実績、目標の達成状況 <目標：基準-2%>

基準としている第42期(H20.11~H21.10)と第44期(H22.11~H23.10)を比較した結果を以下に示す。

廃棄物排出量については、エコアクション取り組み開始後計量を開始し、一年間の計量結果のある第43期(H21.11~H22.10)と今年度(第44期H22.11~H23.10)を比較した結果を示す。

なお、本レポートの目標の達成状況は、前レポートで定めた目標と比較したものであるが、次回レポートからは、「3.環境目標及び実績」の環境効率指標(実績/売上高)による目標設定と比較した実績、目標の達成状況を報告する。

1) 二酸化炭素排出量及び総排水量

【事務所】

項目	単位	基準		第44期		増減値	評価
		第42期		第44期			
		<H20.11~H21.10>		<H22.11~H23.10>			
		実績	目標	実績			
Co2総排出量	Kg-CO2	71,895.87	70,457.95	84,108.00	+13,650.05	×	
購入電力	kWh	51,041.00	50,020.18	60,121.00	+10,100.82	×	
灯油	L	20.00	19.60	0.00	-19.60	○	
重油	L						
都市ガス	Nm3	1,833.00	1,796.34	205.00	-1,591.34	○	
LPG	kg						
ガソリン	L	17,102.53	16,760.48	21,855.40	+5,094.92	×	
軽油	L						
水資源(上水)	m3	329.50	322.91	308.00	-14.91	○	

【現場】

項目	単位	基準		第44期		増減値	評価
		第42期		第44期			
		<H20.11~H21.10>		<H22.11~H23.10>			
		実績	目標	実績			
Co2総排出量	Kg-CO2	197,630.52	193,677.91	400,115.90	+206,437.99	×	
購入電力	kWh	6,261.00	6,135.78	29,174.00	+23,038.22	×	
灯油	L	154.00	150.92	535.00	+384.08	×	
重油	L	800.00	784.00	800.00	+16.00	×	
都市ガス	Nm3						
LPG	kg	471.00	461.58	455.40	-6.18	○	
ガソリン	L	32,951.71	32,292.68	39,890.13	+7,597.45	×	
軽油	L	43,320.46	42,454.05	110,580.94	+68,126.89	×	
水資源(上水)	m3						

## 2) 廃棄物排出量

【事務所・現場】

項 目	単 位	基 準		増 減 値	評 価
		第43期 <H21.11~H22.10> 実 績	第44期 <H22.11~H23.10> 実 績		
一般廃棄物(可燃)	kg	210.5	75.0	-135.50	○
一般廃棄物(再生)	kg	27.7	8.8	-18.90	○

## 3) 産業廃棄物排出量

実績の把握のみの報告とする。(P5「3-(1)-3)産業廃棄物排出量」の実績参照)

## 4) グリーン購入

今回は、実績のみの報告とする。(P5「3-(1)-3)グリーン購入」の実績参照)

### — 総 評 —

- 事務所における都市ガスの使用量が大幅に減ったのは、1階事務室のエアコンをガスから電気に変更したことによる。従って、電気の使用量は増加した。
- 現場における購入電力は、現場動力の使用量増加のため、大幅に増加した。
- 水資源(上水)の使用量については、社員の節水への取り組み姿勢が結果に反映されてきたと思う。
- 今年度(第44期)は売上が大幅に増加したこともあり、今後は各使用量の増減値だけでは的確な判断は困難だと思われる。そこで、前述したとおり次年度からは「環境効率指標」をもとに目標を再設定し取り組むこととする。
- 社用車については、更新時にハイブリッドカーの導入を検討する。

#### 4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容



##### (1) 環境活動計画

推進計画	実施内容	責任者	活 動 内 容
CO2 排出量の削減	建設機械の管理	望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの徹底</li> <li>・過積載をしない。</li> <li>・排出ガス対策型、低騒音重機の積極使用</li> </ul>
	車両の管理	望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの徹底</li> <li>・エコドライブを心掛ける。</li> </ul>
	電気使用量の削減 (事務所)	小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不在時は電気を消灯する。</li> <li>・PC 未使用時は電源を切る。</li> <li>・エアコンの設定温度は冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安とする。</li> </ul>
廃棄物排出量の削減	マニフェスト伝票管理	鈴木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理記録簿作成</li> </ul>
	用紙使用量の削減	小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部資料等は裏紙を使用する。</li> <li>・印刷時はプレビューにて確認する。</li> </ul>
資源の効率的な使用	水道使用量の削減	小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の実行(手洗い時こまめに栓を閉める等)</li> </ul>
	グリーン購入	小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品を整理整頓することで無駄な購入を回避する。</li> <li>・今後物品購入時、可能な物についてエコ用品に切り替えていく。</li> </ul>
	現場で使用する資材について	各工事担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事看板等に間伐材を使用する(可能な場合)等、リサイクルを心掛ける。</li> </ul>
意識向上活動	社員への定期的な啓蒙	田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月定例の朝礼にて、確認、呼びかけを行う。</li> <li>・社内に節電する旨等、社員に協力を促す注意書を掲示する。</li> </ul>
	地域への貢献	杉山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り等地域の美化活動に積極的に参加する。</li> </ul>

(2) 取組結果とその評価

※ 評価基準 ○：実施した。△：1部改善の余地がある。

推進計画	実施内容	活動期間(H22.11~H23.10)	評価	評価日
CO2 排出量の削減	建設機械の管理	・アイドリングストップの徹底	○	11/19
		・過積載をしない。	○	11/19
		・排出ガス対策型、低騒音重機の積極使用	○	11/19
	車両の管理	・アイドリングストップの徹底	○	11/19
		・エコドライブを心掛ける。	△	11/19
	電気使用量の削減(事務所)	・不在時は電気を消灯する。	○	11/19
		・PC未使用時は電源を切る。	○	11/19
		・エアコンの設定温度は冷房時28℃、暖房時20℃を目安とする。	×	11/19
・使用量をグラフ化して掲示する。		○	11/19	
廃棄物排出量の削減	マニフェスト伝票管理	・管理記録簿作成	○	11/19
	用紙使用量の削減	・内部資料等は裏紙を使用する。	○	11/19
		・印刷時はプレビューにて確認する。	△	11/19
		・コピー機使用状況をグラフ化し掲示する。	○	11/19
資源の効率的な使用	水道使用量の削減	・節水の実行(手洗い時こまめに栓を閉める等)	○	11/19
		・使用量をグラフ化して掲示する。	○	11/19
	グリーン購入	・事務用品を整理整頓することで無駄な購入を回避する。	△	11/19
		・今後物品購入時可能な物についてエコ用品に切り替えていく。	△	11/19
意識向上活動	社員への定期的な啓蒙	・毎月定例の朝礼にて、確認、呼びかけを行う。	○	11/19
		・社内に節電する旨等、社員に協力を促す注意書を掲示する。	○	11/19
	地域への貢献	・工事現場周辺の近接道路において交通安全立哨活動を行う。	○	11/19

交通安全運動の一環として、工事現場のある自治会において、地域住民と共に交通安全立哨活動を行い、交通事故防止を呼びかけました。



## 環境活動への取り組み

～ 平成 23 年度全国労働衛生週間(10/1～10/7)に行った安全教育訓練 ～

### 消火訓練

今回の安全教育訓練では、焼津消防署の方々にご協力いただき、火災現場を発見した時の対処方法や消火器の使用方法について、実地にて指導していただきました。参加者全員、火災が発生した場合の初期消火が可能な状況において、臨機の措置をとることができる実践的な消火訓練を行うことができました。

自社社員のみならず、協力会社の方々にも多数ご参加いただき、同じ現場で作業する者として、安全に対する意識向上を共に図ることができました。



### 避難訓練

大規模地震発生等緊急時の対処について自社資料を作成し、各現場における最寄りの避難場所への避難ルートを、実際に徒歩で確認しました。



(3) 次年度の取組内容

環境活動計画 第45期 平成23年11月～平成24年10月

推進計画	実施内容	担当部署	担当者	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考
<b>CO2排出量の削減</b>																
①化石燃料の使用量削減	エコドライブの励行	各車両・重機にエコドライブシール貼付済														毎月の朝礼にて確認・呼びかけ 毎月の請求書より集計(事務局)
※車両の管理	定期的に車両の点検を実施 (点検日:毎月第1月曜日) 急発進・急加速はしない。 停車時のアイドリングストップ 法定速度の厳守	全部署	望月 全員													
※建設機械の管理	建設機械の点検を実施 (作業使用前に点検) 未使用時のアイドリングストップ 過積載をしない。 排出ガス対策型、低騒音重機の積極使用	各現場	各現場担当													
②電気使用量の削減	不在時の電気消灯 パソコン未使用時の電源OFF エアコンの設定温度は冷房時28℃、暖房時20℃を目安	全部署	小野													毎月の朝礼にて確認・呼びかけ 毎月の請求書より集計(事務局)
<b>廃棄物排出量の削減</b>																
※マニフェスト伝票管理	管理記録簿作成	工務部	鈴木													電子化へ移行
※用紙使用量の削減	コピー・プリントアウトは必要最小限にする。 コピー用紙の裏面再利用の徹底 印刷時はプレビューにて確認する。 FAX受信は裏面再利用 社内用コピーは可能な程度に縮小コピーする。(例:A42枚をA5サイズに縮小⇒A41枚にする) 繰り返し使用する書類の写し等は、原本をスキャナで読み込みデータ化して保存。	全部署	小野													毎月の朝礼にて確認・呼びかけ 社内ネットワーク利用ペーパーレスに努める 毎月の請求書より集計(事務局)
<b>資源の効率的な使用</b>																
※水道使用量の削減	節水の実行 (手洗い時こまめに栓を閉める等)	全部署	小野													毎月の朝礼にて確認・呼びかけ
※グリーン購入	物品購入の際、可能な物についてエコ用品へ切替															カタログ等で確認
※現場使用の資材購入	工事看板等に間伐材を使用(可能な場合)等、リサイクルを心掛ける。	各現場	各現場担当													現場材料の発注は計画的にする。
<b>意識向上活動</b>																
※社員への定期的な啓蒙	毎月定例の朝礼にて、確認、呼びかけを行う。 社内に節電する旨等、社員に協力を促す。 環境教育等の実施	全部署	田村													情報・資料の収集、提供
※地域への貢献	草刈り等地域の美化活動に積極的に参加する。 各現場で、近隣自治会において交通安全立哨活動を行う。 仮設トイレを関係者以外でも利用可能な旨周知する	全部署 各現場	杉山 各現場担当													8月道路愛護年4回立哨
<b>環境活動の推進サイクル</b>																
※取組状況確認	四半期ごとの状況確認 (1月・4月・7月・10月) 取組への評価	代表者及び環境管理責任者及び実務担当者		→		→		→		→		→		→		実績集計表の作成



## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(社)日本建設事業者団体連合会監修の「環境法規制等遵守チェックリスト」を自社用に編集し、必要な届出がされているか等について確認した。

環境関連法規等の遵守確認結果、違反はありません。

法規則等の名称	確認内容	遵守状況	評価日
建設業法	・建設業の許可(写し)の現場内掲示の有無	適正	11/15
労働安全衛生法	・現場備付安全書類を確認	適正	11/15
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬業者、処分業者の許可証確認</li> <li>・処分状況確認(中間処理場、最終処分場の確認等)</li> <li>・収集運搬、排出事業者業の許可更新</li> <li>・委託契約書の確認</li> <li>・マニフェスト交付票の保管</li> <li>・マニフェスト交付実績のデータベース化</li> <li>・マニフェスト年間集計報告(毎年6月)</li> </ul> <建設廃棄物処理指針>	適正	11/15
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源利用計画書、実施書の作成</li> <li>・再資源利用促進計画書、実施書の作成</li> <li>・「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成、実施状況の記録を1年間保管</li> <li>・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定」により、対象建設工事の届出を発注者へ行う。</li> </ul> <再生資源利用省令、指定副産物利用促進省令、建設副産物適正処理推進要綱>	適正	11/15
騒音規制法	・低騒音型建設機械であることの確認(現場持込時間関連書類の提出の徹底)	適正	11/15
振動規制法	・低騒音型、低振動型建設機械であることの確認(現場持込時間関連書類の提出の徹底)	適正	11/15
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出ガス対策型であることの確認(現場持込時間関連書類の提出の徹底)</li> </ul> <排出ガス対策型建設機械普及促進規程>	適正	11/15
建築基準法	・石綿含有建材等使用禁止材料の確認	適正	11/15

### (2) 違反、訴訟等の有無

関係機関からの違反指摘及び、利害関係者からの苦情、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

## 6. 代表者による全体評価と見直しの結果



代表者による全体評価と見直しを行った結果は以下のとおりである。

### 1. 環境方針、環境目標の見直しについて

⇒ 環境方針は変更の必要なし。環境目標は本レポートの目標を承認する。

日々の業務において、社内での不必要な電気の消灯等は徹底されてきていると思うが数値には反映されておらず、その他項目についても社員の努力は見られるものの同様である。

社員諸子においては、このような状況でもやる気を失うことなく活動し、目標達成へ向けてより一層努力していただきたい。

### 2. 環境活動への取り組みについて

⇒ 各自今一度自分のできることを考えてもらいたい。

現場については、受注工事内容によって各々の使用量、消費量が増加するのは理解できるが、慣れた作業の中で作業方法等をもう一度見直すことによって、是正事項が見えてくるのではないだろうか。

「もう変わらない。」とは思わず、日々確認し最善の方法を考えるようにしてもらいたい。

### 3. 環境管理責任者への指示事項

今年度(第44期)は、売上が大幅に伸びたこともあり、目標達成は難しかったと思う。上記でも述べたとおり、日常的な取組は出来てきていると思うが、運転中のアイドリングストップの実施状況等、第三者が判断しづらいこともある。

社員一人一人が責任をもって本活動に取り組むことができるように、活動のマナー化を防ぐ方法を考えてほしい。

平成24年1月16日

岡村建設工業株式会社

代表取締役社長